

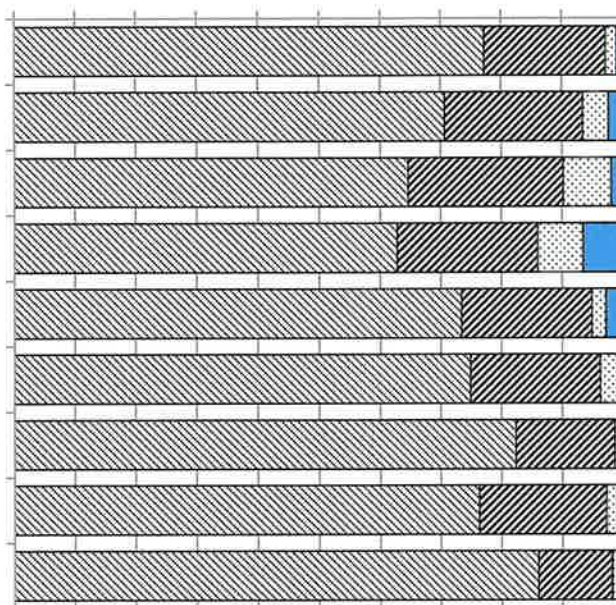
令和5年度 児童の学校生活アンケートについて

児童を対象にした学校生活アンケートの結果、及び考察と改善の視点についてお知らせいたします。結果からは、以下に示したとおり成果と課題が明確になりました。学校では、この結果を真摯に受け止め、今後の取り組みをさらに充実させていきます。

学校生活アンケート(対象全校児童) 思う やや思う あまり思わない 思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

- ①学校で安心して生活していますか
- ②学校に来るのが楽しいですか
- ③勉強はわかりやすいですか
- ④悩み・不安を先生や友達に相談できていますか
- ⑤学校での服装など、身なりに気をつけていますか
- ⑥学校生活のきまりに従って行動していますか
- ⑦清掃を熱心に行っていますか
- ⑧あいさつ・返事をきちんとしていますか
- ⑨友達と仲良く生活できていますか



【改善の視点】

アンケート結果を見ると、多くの児童が肯定的な評価をしていることがわかります。新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、学校での生活様式の変化に対する戸惑いなどもあったと思いますが、学校に来ることを楽しく感じているようです。

昨年度のアンケート結果と比較すると全ての項目で、肯定的なポイントが高くなっています。児童がコロナ禍明けの学校生活様式にも慣れ、楽しんで学校生活を送っていることが分かります。

③に関し、約10%の児童が「勉強はわかりやすいですか」の問いに「あまり思わない・思わない」に回答していました。この回答に対し、ICT機器を取り入れた授業の工夫や、個々の学習進度に合わせた課題の工夫等に注力していきたいと思えます。

④に関し、学校では、学期に一度「教育相談期間」を設けたり、学校生活アンケートを実施したり、いじめアンケートなどをしたりしています。学級担任が児童個々と面談し、児童の思いや悩みを受け止める機会を設けています。学級担任以外の職員やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーとの連携のもと、児童の相談にいつでも応じられるようにしています。今後とも、児童との対話の時間がより多くとれるよう、時間の確保に努めてまいります。

また、教職員と児童、児童相互の望ましい人間関係を築く教育活動の工夫や、他を尊重し合う温かな環境づくりを重視して学校運営を進めてまいります。さらに外部の専門機関として、いすみ市子育て支援課、太東地区民生委員、太東地区社会福祉協議会との連携を強め、児童個々のニーズに応じた指導と支援の充実を図ってまいります。

児童にとって学校は、一人一人が輝き、生き生きと生活できる場でなければなりません。今回のアンケートで肯定的に回答できなかった児童にも目を向けながら、実態に応じた指導・支援に努めてまいります。